

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和3年11月～12月）

令和3年11月～令和3年12月までの白石踊に関わる高校生の活動について高校生自身に報告文を書いてもらいました。

1. SOC ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞 受賞

「Prudential SPIRIT OF COMMUNITY ボランティア・スピリット・アワード」（通称：SOC）とは、ボランティア活動に取り組む中学生・高校生を支援するプログラムです。

25回目となる今年度は、全国から活動人数9,632名の中高生のボランティア活動内容を綴った442通の応募が寄せられたそうです。

私たち中高校生が白石踊の伝統を引き継ごうと活動していることについて

3年前から応募しています。最初の年は第23回全国表彰式で文部科学大臣賞をいただきました。

第24回と今回はコミュニティ賞を受賞しました。

笠岡中央公民館で白石踊の定期練習会の日時に合わせて表彰式を開催いただきました。

白石踊会の会長を始めとして皆様の前で授与いただき、嬉しく思いました。（文章：山本 武）



2. 山陽新聞投稿文

金光学園高校で開催した白石踊講習会について山陽新聞に投稿したところ11月21日の朝刊に掲載されました。（文章：藤原未海）

私たちは、笠岡市白石島の800年もの伝統のある白石踊の継承活動に取り組んでいます。金光学園で3年前から開催している白石踊講習会が10月16日にあり、白石踊会の方々から直接教えてもらいました。たくさんの種類の踊りを見せてもらい、その中のブラブラ踊と女踊を教してもらいました。最初は、手の動かし方や足の動きなど難しい部分もありましたが、だんだん踊れるようになり、最後は参加者で円になって踊りました。今回の講習会では一つ一つの動作の意味や口説き（音頭）の意味なども細かく教えていただき、より深く白石踊について知ることができました。改めて白石踊が古くから伝わる伝統ある踊りだということを実感しました。少子高齢化で後継者不足に直面している白石踊をもっとたくさんの人に知ってもらえるように、これからも活動していこうと思いました。実際に多くの人に白石島に行って白石踊を踊ってほしいと思いました。

3. RSK ラジオ「岡山元気応援団！」に出演

今年度は公益財団法人マルセンススポーツ・文化振興財団から、私たちが白石島での白石踊の活動に参加する際の交通費や全国大会などの場で白石踊の広報活動をする際の助成をいただいています。

その関連で、白石踊 800 年の伝統を受け継ごうとしている私たちは、12 月 21 日に行われた RSK ラジオ「岡山元気応援団！」に出演しました。ラジオ出演は初めてだったため、少し緊張していましたが、ラジオ関係者や MC の方々が気軽に話してくださり、とても良い環境で行えました。

ラジオ番組では白石踊が 800 年も続いていることについて話したり、白石踊の起源や白石島への 1 日旅行、実際に私たちが企画した校内講習会の事なども詳しく聞いていただいたりして、今までよりも深く白石踊について知っていただけたと思います。答えやすいように質問を投げかけていただいたのでとても話しやすかったです。

現在は少子高齢化の影響で白石踊の後継者不足が懸念されていますが、ラジオ出演という場を通してもっと様々な人に白石踊が伝われば良いなと思います。出演時間は 10 分程度でしたが、とても良い機会となりました。このような経験を参考にしながら、今後の活動の幅を広げていきたいと思っています。



(文章：六原未智)

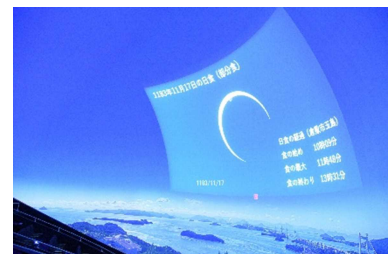
4. 水島合戦を体感するツアーを実施

白石踊は源平水島合戦の戦死者を島民が弔ったことが起源だと伝えられています。寿永二年閏十月一日（1183 年 11 月 17 日）、この日は、かつての源平の争いの最中、太陽が陰って金環日食が起こったと伝わる、源平水島合戦の日です。この合戦は、日食を知っていた平氏が、日食を利用して勝利を勝ち取ったという世にも珍しい戦いでした。この倉敷市水島で起こった特別な合戦にみなさんをご招待する、というのが 11 月 13 日に実施した源平探訪ツアーです。

ライフパーク倉敷科学センターの学芸員さんに相談の結果、プラネタリウムで金環日食を体感し、歴史と天文の両方が学べる番組を作っていました。

事前に新聞報道されましたので一般の方々を含む 40 人の申し込みがあり、福武教育文化振興財団からツアー実施の助成をいただいたので、無料でご参加いただけました。

水島合戦は海を舞台にした戦いであったため、船旅で合戦を体感したのち、戦いの舞台である玉島地域の源平大橋を間近に、船を停泊させ地元歴史愛好家の方に解説していただく予定でしたが、当日は波が高く途



中で引き返すことになりました。

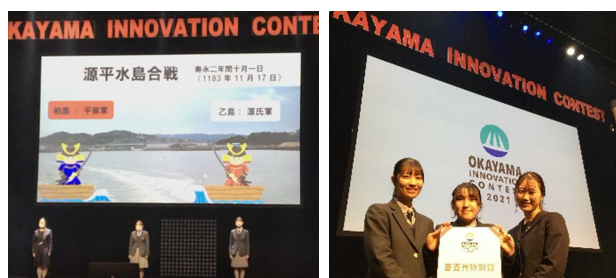
その後、ライフパーク倉敷科学センターに移動し、プラネタリウム番組をご覧いただきました。活動全体を通して、地域課題を発見し、その解決策を考え行動を起こすこと自体の楽しさを知りました。一高校生の自分が大人のもとへ企画書を持って伺う、というのは、緊張と不安が大変大きかったです。けれど地域の皆さんはいつも真剣に話を聞いてくださり、その温かさを感じることができました。当日の悪天候は大変残念でしたが、参加者の皆さんに少しでも楽しんでいただき、白石踊や源平水島合戦に興味を持っていただけたなら大成功だと思います。今後も自分にできることを考え、挑戦して参りたいと思います。

(文章：尾崎 光)



5. 岡山イノベーションコンテスト 審査員特別賞 受賞

「水島合戦を体感するツアー」を一緒に実施した倉敷古城池高校の生徒とチームを組み、源平水島合戦のさなかに起こった日食をプラネタリウムで再現するツアーをビジネスプランにして岡山イノベーションコンテストでプレゼンテーションしました。審査員特別賞を受賞できました。(文章：尾崎 光)



6. 高校生ビジネスプラン・グランプリ セミファイナリスト表彰

日本政策金融公庫主催のこの大会は、高校生が日本の未来・地域の未来を切り拓くビジネスプランを競う全国規模の大会で、今年は 3,087 件の応募があったそうです。その中で、源平水島合戦を題材に盛り込んだ私たちのプランが全国ベスト 20 に入り、セミファイナリストとして表彰していただきました。(文章：尾崎 光)



以上